

平成23年3月期 第3四半期決算短信  
参 考 資 料

平成23年2月14日

**NKSJホールディングス株式会社**

(コード番号 : 8630)

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信 参考資料 目次

## 主要な連結子会社の業績の概況

<b>(株)損害保険ジャパン 単体</b> .....	<b>2</b>
四半期貸借対照表 .....	2
四半期損益計算書 .....	3
種目別保険料・保険金関係 .....	4
ソルベンシー・マージン比率 .....	5
証券化商品等に対するエクスポージャー（平成22年12月末） .....	6
<b>日本興亜損害保険(株) 単体</b> .....	<b>9</b>
四半期貸借対照表 .....	9
四半期損益計算書 .....	10
種目別保険料・保険金関係 .....	11
ソルベンシー・マージン比率 .....	12
証券化商品等への投資およびサブプライムローン関連投資の状況（平成22年12月末） .....	13
<b>そんぽ24損害保険(株) 単体</b> .....	<b>14</b>
四半期貸借対照表 .....	14
四半期損益計算書 .....	15
種目別保険料・保険金関係 .....	16
ソルベンシー・マージン比率 .....	17
<b>セゾン自動車火災保険(株) 単体</b> .....	<b>18</b>
四半期貸借対照表 .....	18
四半期損益計算書 .....	19
種目別保険料・保険金関係 .....	20
ソルベンシー・マージン比率 .....	21
<b>損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体</b> .....	<b>22</b>
四半期貸借対照表 .....	22
四半期損益計算書 .....	23
主要業績（保有契約高、新契約高、年換算保険料） .....	24
ソルベンシー・マージン比率 .....	25
<b>日本興亜生命保険(株) 単体</b> .....	<b>26</b>
四半期貸借対照表 .....	26
四半期損益計算書 .....	27
主要業績（保有契約高、新契約高、年換算保険料） .....	28
ソルベンシー・マージン比率 .....	29
<b>損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体</b> .....	<b>30</b>
四半期貸借対照表 .....	30
四半期損益計算書 .....	31
主要業績（保有契約高、新契約高、年換算保険料） .....	32
ソルベンシー・マージン比率 .....	33
<b>補足説明</b> .....	<b>34</b>
諸比率等の計算方法 .....	34
ソルベンシー・マージン比率 .....	34
将来予想に関する記述について .....	35

## 主要な連結子会社の業績の概況

(株)損害保険ジャパン 単体

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末	前事業年度末に係る	比較増減
		(平成22年12月31日)	要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		48,404	118,455	△70,051
コールローン		53,500	46,800	6,700
買現先勘定		64,984	61,489	3,494
買入金銭債権		31,559	34,585	△3,026
金銭の信託		3,502	6,773	△3,271
有価証券		3,454,480	3,525,735	△71,254
貸付金		467,274	476,173	△8,899
有形固定資産		209,905	212,244	△2,338
無形固定資産		96	758	△662
その他資産		359,722	437,671	△77,948
繰延税金資産		150,889	121,347	29,541
貸倒引当金		△3,642	△5,068	1,426
投資損失引当金		△7,907	△7,734	△172
資産の部合計		4,832,768	5,029,232	△196,463
負債の部				
保険契約準備金		3,674,736	3,797,586	△122,849
支払備金		630,548	687,801	△57,252
責任準備金		3,044,187	3,109,784	△65,597
社債		128,000	128,000	—
その他負債		162,839	181,855	△19,015
退職給付引当金		81,003	76,741	4,261
賞与引当金		5,088	13,405	△8,317
特別法上の準備金		13,821	11,462	2,358
価格変動準備金		13,821	11,462	2,358
負債の部合計		4,065,489	4,209,051	△143,562
純資産の部				
株主資本				
資本金		70,000	70,000	—
資本剰余金		24,229	24,229	—
利益剰余金		341,269	338,304	2,965
株主資本合計		435,499	432,534	2,965
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		331,779	386,343	△54,563
評価・換算差額等合計		331,779	386,343	△54,563
新株予約権		—	1,302	△1,302
純資産の部合計		767,279	820,181	△52,901
負債及び純資産の部合計		4,832,768	5,029,232	△196,463

## (株)損害保険ジャパン 単体

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日) (至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日) (至平成22年12月31日)	比較増減	増減率
		金 額	金 額		
経常収益		1,246,139	1,250,890	4,751	0.4%
保険引受収益		1,191,885	1,199,925	8,040	0.7
(うち正味収入保険料)	(	951,167)	953,354)	(2,186)	(0.2)
(うち収入積立保険料)	(	86,824)	90,610)	(3,786)	(4.4)
(うち積立保険料等運用益)	(	31,668)	29,333)	(△2,334)	(△7.4)
(うち支払備金戻入額)	(	68,586)	57,252)	(△11,334)	(△16.5)
(うち責任準備金戻入額)	(	52,198)	65,597)	(13,398)	(25.7)
資産運用収益		49,818	46,836	△2,981	△6.0
(うち利息及び配当金収入)	(	66,092)	62,758)	(△3,333)	(△5.0)
(うち金銭の信託運用益)	(	0)	0)	(0)	(810.4)
(うち売買目的有価証券運用益)	(	25)	—)	(△25)	(△100.0)
(うち有価証券売却益)	(	12,538)	4,737)	(△7,801)	(△62.2)
(うち積立保険料等運用益振替)	(	△31,668)	△29,333)	(2,334)	(—)
その他経常収益		4,435	4,128	△306	△6.9
経常費用		1,218,150	1,211,186	△6,964	△0.6
保険引受費用		1,011,802	1,016,719	4,917	0.5
(うち正味支払保険金)	(	647,426)	609,055)	(△38,370)	(△5.9)
(うち損害調査費)	(	57,887)	69,667)	(11,779)	(20.3)
(うち諸手数料及び集金費)	(	160,338)	161,168)	(830)	(0.5)
(うち満期返戻金)	(	138,682)	172,814)	(34,131)	(24.6)
資産運用費用		25,018	21,935	△3,083	△12.3
(うち金銭の信託運用損)	(	1,127)	395)	(△731)	(△64.9)
(うち売買目的有価証券運用損)	(	—)	23)	(23)	(—)
(うち有価証券売却損)	(	5,528)	2,042)	(△3,485)	(△63.0)
(うち有価証券評価損)	(	6,642)	6,137)	(△505)	(△7.6)
営業費及び一般管理費		173,990	166,407	△7,583	△4.4
その他経常費用		7,338	6,123	△1,214	△16.5
(うち支払利息)	(	4,246)	5,299)	(1,053)	(24.8)
経常利益		27,989	39,704	11,715	41.9
特別利益		15,857	3,219	△12,637	△79.7
固定資産処分益		843	131	△712	△84.5
その他特別利益		15,013	3,088	△11,925	△79.4
特別損失		4,909	3,679	△1,230	△25.1
固定資産処分損		615	293	△321	△52.2
減損損失		—	259	259	—
特別法上の準備金繰入額		4,294	2,358	△1,935	△45.1
価格変動準備金繰入額		4,294	2,358	△1,935	△45.1
その他特別損失		—	767	767	—
税引前四半期純利益		38,936	39,245	308	0.8
法人税等		14,784	14,340	△444	△3.0
四半期純利益		24,152	24,904	752	3.1

保 險 引 受 収 支	正味収入保険料	(+)	951,167	953,354	2,186	0.2
	正味支払保険金	(-)	647,426	609,055	△38,370	△5.9
	損害調査費	(-)	57,887	69,667	11,779	20.3
	正味事業費	(-)	325,436	319,514	△5,921	△1.8
	(諸手数料及び集金費)	(	160,338)	161,168)	(830)	(0.5)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(	165,097)	158,346)	(△6,751)	(△4.1)
	収支残高		△79,582	△44,883	34,699	—
保険引受利益		13,125	22,416	9,291	70.8	
諸 比 率	正味損害率	(%)	74.2	71.2	△3.0	
	正味事業費率	(%)	34.2	33.5	△0.7	
	収支残高率	(%)	△8.4	△4.7	3.7	

## (株)損害保険ジャパン 単体

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	137,276	13.7	△0.8	132,385	13.2	△3.6
海上	21,570	2.2	△24.3	23,467	2.3	8.8
傷害	97,573	9.7	△1.1	98,026	9.7	0.5
自動車	482,910	48.2	△2.6	480,627	47.8	△0.5
自動車損害賠償責任	132,319	13.2	△10.6	132,447	13.2	0.1
その他	130,852	13.1	0.4	138,984	13.8	6.2
合 計	1,002,501	100.0	△3.6	1,005,938	100.0	0.3
(収入積立保険料)	( 86,824 )	—	( △22.3 )	( 90,610 )	—	( 4.4 )

正味収入保険料

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	107,253	11.3	△1.5	106,453	11.2	△0.7
海上	17,924	1.9	△25.4	19,081	2.0	6.5
傷害	96,435	10.1	△1.1	97,453	10.2	1.1
自動車	483,336	50.8	△2.2	481,165	50.5	△0.4
自動車損害賠償責任	123,076	12.9	△12.2	125,868	13.2	2.3
その他	123,141	12.9	0.8	123,331	12.9	0.2
合 計	951,167	100.0	△3.6	953,354	100.0	0.2

正味支払保険金

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	46,329	11.3	44.7	41,589	△10.2	40.8
海上	10,031	△7.0	60.6	10,886	8.5	60.8
傷害	50,541	0.4	57.6	51,564	2.0	58.4
自動車	296,905	△2.0	68.7	293,286	△1.2	70.6
自動車損害賠償責任	117,742	△3.5	104.0	117,996	0.2	101.2
その他	125,875	95.0	106.3	93,731	△25.5	80.6
合 計	647,426	9.3	74.2	609,055	△5.9	71.2

## (株)損害保険ジャパン 単体

## ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	1,571,422	1,671,429
資本金又は基金等	435,499	414,156
価格変動準備金	13,821	11,462
危険準備金	611	611
異常危険準備金	481,312	466,702
一般貸倒引当金	276	992
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	464,201	536,605
土地の含み損益	30,208	52,252
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	128,000	128,000
控除項目	157,460	101,616
その他	174,952	162,261
(B) リスクの合計額	407,089	417,827
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク ( $R_1$ )	83,979	83,975
第三分野保険の保険リスク ( $R_2$ )	—	—
予定利率リスク ( $R_3$ )	5,332	5,368
資産運用リスク ( $R_4$ )	175,548	185,633
経営管理リスク ( $R_5$ )	9,265	9,493
巨大災害リスク ( $R_6$ )	198,398	199,686
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	772.0 %	800.0 %

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第3四半期会計期間末の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を当中間会計期間末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。



## 証券化商品等に対するエクスポージャー(平成22年12月末)

### 株式会社 損害保険ジャパン

#### 金融保証保険の概要

**2010年度第3四半期  
累計(4-12月)損益  
(金融保証保険全体)**

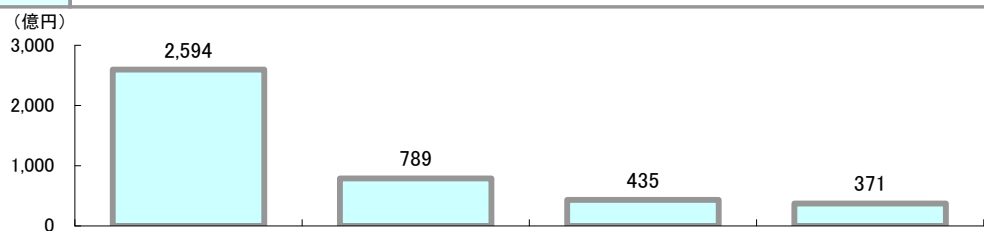
+198億円 (ABS-CDO保証における過年度支払済み保険金の一部回収や  
支払備金戻入益の発生などによる利益認識)

	当中間期 (2010年4-9月)	当第3四半期 (2010年10-12月)	当第3四半期累計期間 (2010年4-12月)	前第3四半期累計期間 (2009年4-12月)
金融保証全体(損益)				(単位:億円)
支払保険金(注1)	△ 185	△ 121	△ 306	△ 637
支払備金積増/取崩(注2)	311	193	504	623
損益	126	71	198	△ 13

(注1) 合意解約を含む (注2) 為替ヘッジ損益を含む

**ABS-CDO保証の  
ネットエクスポージャー**

支払備金控除後のABS-CDO保証残高は371億円 (2010年3月末比64億円の減少)



ABS-CDO保証(残高)	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末	2010年12月末
保証残高	2,894	2,180	1,231	642
支払備金引当済	△ 300	△ 1,390	△ 795	△ 271
支払備金控除後保証残高	2,594	789	435	371

## <資料1> 金融保証保険

(2010年12月末、単位: 億円、1ドル=81.44円)

区分	保証残高					2010年度 4-12月損益 (注8)	
	元受 (注6)	特約受再 (注7)	合計	支払備金 引当済	支払備金控除後 保証残高		
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)(注1)	637	4	642	271	371	196
	企業CDO(1次証券化商品)(注2)	1,377	7	1,384	-	1,384	-
	小計	2,014	11	2,026	271	1,755	196
ABS	RMBS(注3)	328	90	418	5	413	△2
	海外RMBS	(-)	(90)	(90)	(5)	(85)	(△2)
	国内RMBS	(328)	(-)	(328)	(-)	(328)	(-)
	CMBS(注4)	-	-	-	-	-	-
	その他ABS	82	133	215	-	215	5
	海外ABS(注5)	(27)	(133)	(160)	(-)	(160)	(5)
	国内ABS	(54)	(-)	(54)	(-)	(54)	(-)
小計	410	223	634	5	629	-	
米国地方債等	-	1,445	1,445	1	1,444	△1	
合計	2,425	1,681	4,106	277	3,828	198	

(注1) ABS-CDO(2次証券化商品)とは、RMBSやCDO、CLO等の証券化商品を裏付として更に証券化した2次証券化CDO

(注2) 企業CDO(1次証券化商品)とは、社債や企業融資、個別銘柄のCDSなど企業の信用リスクを直接の裏付資産としている1次証券化CDO

(注3) RMBSとは、住宅ローンを裏付として発行される証券。83%が投資適格クラス(BBB格以上)であり、78%はAAA格である

(注4) CMBSとは、商業用不動産ローンを裏付として発行される証券

(注5) 海外ABSのうち、米国の個人ローン関連ABSは6%であり、その他は主に企業関連と信(リース債権等)などが占める

(注6) 元受には米国モ/ライン保証債に対する金融保証保険(82億円)を含む

(注7) 特約受再とは、元受会社が引受けた保険契約の一定割合を再保険として引受ける契約

(注8) 損益合計198億円の内訳は、支払保険金△306億円、支払備金増減による影響+529億円、支払備金に係るヘッジ損益△24億円。なお、金融保証保険は保険契約であるため、評価損益、含み損益はない。

## <資料2> 金融保証保険: ABS-CDO保証案件一覧(特約受再を除く)

(2010年12月末、単位: 億円、1ドル=81.44円)

案件番号 (注1)	案件格付 (S&P/MDY) (注2)	発行年度	保証残高 (注3)	劣後割合 (注4)	裏付資産の格付別構成割合						サブプライム 比率
					AAA	AA	A	BBB	BB以下	内デフォルト等 (注5)	
CDO保証①	AA/Caa3	2003	81	17%	29%	8%	2%	21%	39%	5.5%	0%
CDO保証②(注6)	AAA/Aa3	2004	48	56%	32%	20%	14%	0%	34%	24.4%	0%
	AAA/Aa3	2004	100	32%							
CDO保証⑦	CCC+/C	2006	162	9%	2%	13%	7%	5%	73%	0.0%	31%
CDO保証⑩	CC/Caa1	2004	244	20%	10%	10%	19%	14%	47%	30.0%	-
ABS-CDO 合計			637	22%	11%	13%	9%	8%	59%	9.2%	-
支払備金控除後保証残高			366								

(注1) CDO保証③、④、⑤、⑥、⑧、⑨、⑩、⑫は、保証契約者との合意解約および当社保証部分の全額償還により保証終了となったため、案件一覧から除外している

(注2) 案件格付は2011年1月末時点

(注3) 保証元本額であり、一部の案件では、他に利払いを保証対象としている。なお、この保証対象の元利払いが不足した場合に当社の保証履行義務が生じる

(注4) 劣後割合は、当社の保証する優先部分よりも下位に位置する劣後部分の裏付資産に対する割合。なお、優先部分の元本償還に伴い劣後割合は増加する

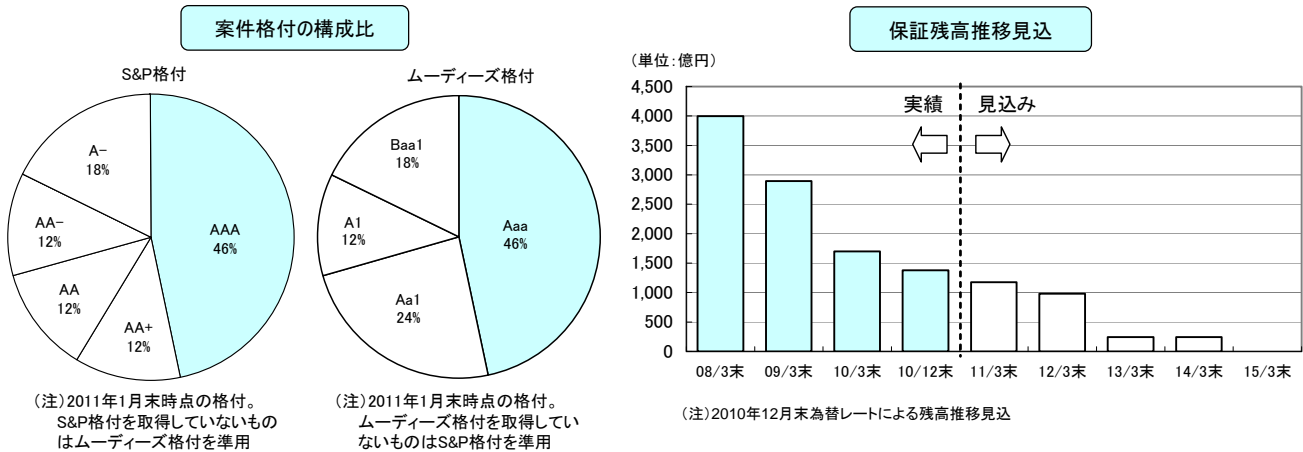
(注5) 案件ごとに規定されているデフォルト定義等に基づき判定を行い、回収考慮後の元本毀損額としている

(注6) CDO保証②は、同じCDOの異なるクラスを保証している



<資料3> 金融保証保険: 企業CDOの状況(特約受再を除く)

- ・元受企業CDOの保証残高は1,377億円であり、個別案件を精査した結果、現時点で損失を見込んでいる案件はない。
- ・元受企業CDOの平均残存期間は約1.8年であり、2012年度末までに約1,133億円(元受企業CDOの約82%)が償還となる見込み。
- ・当社が保証する企業CDOは、1案件150銘柄程度の分散された参照企業から構成されており、1企業のデフォルトによる影響は限定的である。
- ・業種および特定企業への偏りはなく、最大セクターである金融機関の比率で14%程度である。



<資料4> 証券化商品等への投融資

区分		残高	2010年度4-12月 損益状況		
			評価損益(P/L)	含み損益	損益計
CDO	ABS-CDO(2次証券化商品)	-	-	-	-
	企業CDO(1次証券化商品)(注1)	-	-	-	-
	<b>小計</b>	-	-	-	-
ABS	RMBS(注2)	292	-	6	6
	海外RMBS	(16)	(-)	(△4)	(△4)
	国内RMBS	(275)	(-)	(11)	(11)
	CMBS	121	-	△5	△5
	海外CMBS	(7)	(-)	(△2)	(△2)
	国内CMBS	(113)	(-)	(△3)	(△3)
	その他ABS	7	-	△2	△2
	海外ABS	(7)	(-)	(△2)	(△2)
	国内ABS	(-)	(-)	(-)	(-)
<b>小計</b>	421	-	△1	△1	
SIV(投資ビークル)への投資		-	-	-	-
レバレッジド・ファイナンス(注3)		7	-	-	-
<b>合計</b>		428	-	△1	△1
【参考】ヘッジファンド(米国サブプライムローン関連エクスポージャー)		+12	買建(ロングポジション)と売建(ショートポジション)をネットしたエクスポージャー		

(注1) 企業CDOには財政融資CLOを含まない

(注2) RMBSには政府系機関が発行するRMBSを含まない。ほぼ全額が投資適格クラス(BBB以上)であり、うち83%はAAA

米国住宅金融公社関連のエクスポージャー(RMBS、機関債)は、579億円(2010年3月末対比33億円減少)。評価損等(P/L)は発生していない

(注3) レバレッジド・ファイナンスとは、企業の買収・合併の際に提供される、主に被買収企業のキャッシュフローに依拠したファイナンス。すべて国内案件

## 日本興亜損害保険(株) 単体

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末	前事業年度末に係る	比較増減
		(平成22年12月31日)	要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		95,111	80,793	14,317
コールローン		10,000	50,000	△40,000
買入金銭債権		3,161	6,129	△2,967
金銭の信託		56,333	56,752	△418
有価証券		1,757,100	1,822,848	△65,748
貸付金		204,638	227,417	△22,779
有形固定資産		127,722	130,437	△2,715
無形固定資産		528	534	△6
その他資産		164,966	159,263	5,702
繰延税金資産		74,055	60,392	13,662
貸倒引当金		△2,122	△2,106	△16
資産の部合計		2,491,494	2,592,464	△100,969
負債の部				
保険契約準備金		1,990,867	2,059,290	△68,423
支払備金		265,060	267,872	△2,812
責任準備金		1,725,807	1,791,418	△65,610
その他負債		56,364	65,184	△8,820
退職給付引当金		24,220	22,583	1,636
賞与引当金		1,619	6,078	△4,458
役員賞与引当金		—	41	△41
特別法上の準備金		7,931	5,643	2,288
価格変動準備金		7,931	5,643	2,288
負債の部合計		2,081,002	2,158,821	△77,819
純資産の部				
株主資本				
資本金		91,249	91,249	—
資本剰余金		46,702	46,702	—
利益剰余金		119,735	117,202	2,533
株主資本合計		257,686	255,153	2,533
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		148,531	175,808	△27,276
繰延ヘッジ損益		4,274	2,115	2,158
評価・換算差額等合計		152,806	177,924	△25,118
新株予約権		—	565	△565
純資産の部合計		410,492	433,642	△23,150
負債及び純資産の部合計		2,491,494	2,592,464	△100,969

## 日本興亜損害保険(株) 単体

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日) (至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日) (至平成22年12月31日)	比較増減	増減率
		金 額	金 額		
経常収益		640,987	614,517	△26,470	△4.1%
保険引受収益		608,294	582,868	△25,425	△4.2
(うち正味収入保険料)	(	480,629)	471,742)	(△8,887)	(△1.8)
(うち収入積立保険料)	(	29,725)	27,187)	(△2,537)	(△8.5)
(うち積立保険料等運用益)	(	17,284)	15,480)	(△1,804)	(△10.4)
(うち支払備金戻入額)	(	2,986)	2,812)	(△174)	(△5.8)
(うち責任準備金戻入額)	(	77,408)	65,610)	(△11,797)	(△15.2)
資産運用収益		31,660	30,534	△1,126	△3.6
(うち利息及び配当金収入)	(	35,617)	33,706)	(△1,911)	(△5.4)
(うち金銭の信託運用益)	(	1,746)	453)	(△1,292)	(△74.0)
(うち有価証券売却益)	(	8,205)	10,260)	(2,055)	(25.0)
(うち積立保険料等運用益振替)	(	△17,284)	△15,480)	(1,804)	(—)
その他経常収益		1,033	1,114	80	7.8
経常費用		618,764	597,882	△20,881	△3.4
保険引受費用		514,789	494,286	△20,503	△4.0
(うち正味支払保険金)	(	300,424)	296,235)	(△4,188)	(△1.4)
(うち損害調査費)	(	26,440)	26,193)	(△246)	(△0.9)
(うち諸手数料及び集金費)	(	81,706)	79,295)	(△2,410)	(△2.9)
(うち満期返戻金)	(	105,924)	91,154)	(△14,769)	(△13.9)
資産運用費用		9,864	10,411	546	5.5
(うち金銭の信託運用損)	(	196)	513)	(317)	(161.8)
(うち有価証券売却損)	(	2,831)	4,888)	(2,057)	(72.7)
(うち有価証券評価損)	(	2,846)	2,334)	(△511)	(△18.0)
営業費及び一般管理費		93,518	92,306	△1,211	△1.3
その他経常費用		591	878	287	48.6
(うち支払利息)	(	38)	26)	(△11)	(△30.4)
経常利益		22,223	16,634	△5,588	△25.1
特別利益		398	746	347	87.2
固定資産処分益		398	181	△217	△54.5
その他特別利益		—	565	565	—
特別損失		4,721	3,031	△1,690	△35.8
固定資産処分損		323	178	△144	△44.8
減損損失		68	402	334	489.5
特別法上の準備金繰入額		1,922	2,288	365	19.0
価格変動準備金繰入額		1,922	2,288	365	19.0
その他特別損失		2,407	162	△2,245	△93.3
税引前四半期純利益		17,900	14,349	△3,551	△19.8
法人税等		4,666	4,522	△144	△3.1
四半期純利益		13,234	9,827	△3,406	△25.7

保 險 引 受 収 支	正味収入保険料	(+)	480,629	471,742	△8,887	△1.8
	正味支払保険金	(-)	300,424	296,235	△4,188	△1.4
	損害調査費	(-)	26,440	26,193	△246	△0.9
	正味事業費	(-)	170,584	167,080	△3,504	△2.1
	(諸手数料及び集金費)	(	81,706)	79,295)	(△2,410)	(△2.9)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(	88,878)	87,784)	(△1,094)	(△1.2)
収支残高		△16,819	△17,766	△946	—	
保険引受利益		3,123	△111	△3,234	△103.6	
諸 比 率	正味損害率	(%)	68.0	68.3	0.3	
	正味事業費率	(%)	35.5	35.4	△0.1	
	収支残高率	(%)	△3.5	△3.8	△0.3	

## 日本興亜損害保険(株) 単体

## 種目別保険料・保険金関係

## 元受正味保険料 (除く収入積立保険料)

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	92,746	18.3	2.2	87,976	17.6	△5.1
海 上	10,394	2.0	△26.2	11,118	2.2	7.0
傷 害	38,965	7.7	△5.3	38,202	7.7	△2.0
自 動 車	241,312	47.5	△1.8	237,367	47.7	△1.6
自動車損害賠償責任	57,851	11.4	△10.0	57,982	11.6	0.2
その他の	66,301	13.1	△2.9	66,061	13.2	△0.4
合 計	507,572	100.0	△3.2	498,709	100.0	△1.7
(収入積立保険料)	(29,725)	—	(△31.2)	(27,187)	—	(△8.5)

## 正味収入保険料

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	72,065	15.0	2.1	66,796	14.2	△7.3
海 上	9,975	2.1	△24.6	10,469	2.2	5.0
傷 害	39,490	8.2	△4.7	38,953	8.3	△1.4
自 動 車	240,997	50.1	△1.8	237,248	50.2	△1.6
自動車損害賠償責任	55,530	11.6	△12.0	56,388	12.0	1.5
その他の	62,569	13.0	△2.5	61,886	13.1	△1.1
合 計	480,629	100.0	△3.5	471,742	100.0	△1.8

## 正味支払保険金

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火 災	32,511	9.5	48.9	28,445	△12.5	46.3
海 上	6,172	26.3	64.2	4,281	△30.6	42.8
傷 害	23,184	△5.2	64.2	22,744	△1.9	63.6
自 動 車	151,652	1.8	69.0	156,192	3.0	72.2
自動車損害賠償責任	53,956	△3.6	102.7	54,302	0.6	101.8
その他の	32,947	△7.4	58.4	30,269	△8.1	54.2
合 計	300,424	0.3	68.0	296,235	△1.4	68.3

## 日本興亜損害保険(株) 単体

## ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	817,729	840,210
資本金又は基金等	257,686	249,698
価格変動準備金	7,931	5,643
危険準備金	12	12
異常危険準備金	287,027	285,675
一般貸倒引当金	151	40
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	204,188	242,132
土地の含み損益	23,153	24,275
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	13,269	13,269
その他	50,848	46,002
(B) リスクの合計額	230,656	226,293
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク( $R_1$ )	39,278	39,271
第三分野保険の保険リスク( $R_2$ )	1	1
予定利率リスク( $R_3$ )	3,039	3,088
資産運用リスク( $R_4$ )	80,213	85,444
経営管理リスク( $R_5$ )	5,120	7,492
巨大災害リスク( $R_6$ )	133,481	121,948
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	709.0%	742.5%

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第3四半期会計期間末の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を当中間会計期間末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

## 日本興亜損害保険(株) 単体

## 証券化商品等への投資およびサブプライムローン関連投資の状況(平成22年12月末)

平成22年12月末の証券化商品等への投資状況は以下のとおりであります。

## 1. 特別目的事業体(SPEs)一般

該当ありません。

## 2. 債務担保証券(CDO)

(単位:億円)

	平成22年12月末(平成22年度第3四半期)			(参考)平成22年3月末(平成21年度)		
	時価	含み損益	減損処理額等	時価	含み損益	減損処理額等
CDO	76	1	—	78	1	—
格付があるもの	72	—	—	72	—	—
格付がないもの	4	1	—	6	1	—

(注) 1. 時価のある有価証券の減損にあたっては、原則として、時価の簿価に対する下落率が30%以上の銘柄はすべて減損を行っております。また、以下の表も同様であります。

- 格付のあるCDOの格付別内訳は、AAA14%、A73%、BB13%であります。
- CDOの担保の種類は、すべてコーポレート・クレジットを裏付け資産とするものです。
- CDOの地域別内訳は、国内95%、海外5%であります。
- 格付別内訳および地域別内訳の割合は、時価により算出しております。
- CDOについては、上記とは別に金融派生商品収益として9億円を計上しております。

## 3. その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

該当ありません。

## 4. 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:億円)

	平成22年12月末(平成22年度第3四半期)			(参考)平成22年3月末(平成21年度)		
	時価	含み損益	減損処理額等	時価	含み損益	減損処理額等
CMBS	52	△2	—	88	△3	△1
国内	52	△2	—	88	△3	△1
海外	—	—	—	—	—	—

(注) 減損処理額等は有価証券評価損およびその他運用費用として処理した金額を記載しております。

## 5. レバレッジド・ファイナンス

該当ありません。

## 6. その他

## CDS(クレジット・デフォルト・スワップ)

CDSのうち、CDO等の証券化商品を参照しているものの保有はありません。

企業単一のクレジットを参照するCDS(売建想定元本70億円、時価0億円、評価損益0億円)を保有しております。

## 【各種証券化商品の用語について】

- SPEs : Special Purpose Entities、SIV(Structured Investment Vehicle)等、証券化商品等への投資を専門に行う特別目的事業体の総称
- CDO : Collateralized Debt Obligation、多数の債券やローンを集めて資産プールを作り、これを裏付け資産として証券化した証券
- Alt-A : 米国の住宅ローンのうち、信用度の高い借り手向けのプライム・ローンと信用度の低い借り手向けのサブプライム・ローンの中間レベルに位置するもの
- CMBS : Commercial Mortgage-Backed Security、商業用不動産に対するローン債権を証券化した商品
- CDS : Credit Default Swap、企業や証券化商品等を参照組織とし、そのクレジットを取引するスワップ契約

## そんぽ24損害保険(株) 単体

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末	前事業年度末に係る	比較増減
		(平成22年12月31日)	要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		1,872	1,851	20
有価証券		15,987	15,618	369
有形固定資産		153	182	△28
その他資産		683	810	△127
資産の部合計		18,696	18,463	233
負債の部				
保険契約準備金		9,001	8,538	463
支払備金		2,493	2,333	159
責任準備金		6,508	6,204	303
その他負債		1,233	1,443	△210
退職給付引当金		97	79	18
賞与引当金		20	92	△72
特別法上の準備金		22	20	2
価格変動準備金		22	20	2
繰延税金負債		—	18	△18
負債の部合計		10,376	10,193	182
純資産の部				
株主資本				
資本金		19,000	19,000	—
資本剰余金		19,000	19,000	—
利益剰余金		△29,634	△29,763	129
株主資本合計		8,365	8,236	129
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		△45	32	△78
評価・換算差額等合計		△45	32	△78
純資産の部合計		8,320	8,269	50
負債及び純資産の部合計		18,696	18,463	233

## そんぽ24損害保険(株) 単体

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日) (至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日) (至平成22年12月31日)	比較増減	増減率
		金 額	金 額		
経常収益		7,506	8,370	864	11.5%
保険引受収益		7,436	8,040	603	8.1
(うち正味収入保険料)	(	7,428)	8,033)	(605)	(8.1)
(うち積立保険料等運用益)	(	8)	6)	(△1)	(△16.5)
資産運用収益		69	330	260	373.9
(うち利息及び配当金収入)	(	77)	63)	(△14)	(△18.7)
(うち有価証券売却益)	(	—)	273)	(273)	(—)
(うち積立保険料等運用益振替)	(	△8)	(△6)	(1)	(—)
その他経常収益		0	0	△0	△2.0
経常費用		7,612	8,235	622	8.2
保険引受費用		5,518	6,313	794	14.4
(うち正味支払保険金)	(	4,019)	(4,854)	(834)	(20.8)
(うち損害調査費)	(	461)	(477)	(15)	(3.4)
(うち諸手数料及び集金費)	(	483)	(518)	(35)	(7.3)
(うち支払備金繰入額)	(	32)	(159)	(127)	(393.9)
(うち責任準備金繰入額)	(	521)	(303)	(△218)	(△41.8)
営業費及び一般管理費		2,094	1,921	△172	△8.2
その他経常費用		0	0	△0	△73.3
経常利益又は経常損失(△)		△106	135	241	—
特別損失		5	3	△2	△37.8
固定資産処分損		0	1	0	102.7
特別法上の準備金繰入額		2	2	0	2.9
価格変動準備金繰入額		2	2	0	2.9
その他特別損失		2	—	△2	△100.0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		△111	132	243	—
法人税等		2	2	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△114	129	243	—

保 險 引 受 収 支	正味収入保険料(+) )	7,428	8,033	605	8.1
	正味支払保険金(—)	4,019	4,854	834	20.8
	損害調査費(—)	461	477	15	3.4
	正味事業費(—)	2,577	2,438	△139	△5.4
	(諸手数料及び集金費)	(483)	(518)	(35)	(7.3)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(2,094)	(1,919)	(△174)	(△8.3)
収支残高		370	264	△106	△28.6
保険引受利益		△175	△192	△16	—
諸 比 率	正味損害率(%)	60.3	66.4	6.1	
	正味事業費率(%)	34.7	30.3	△4.4	
	収支残高率(%)	5.0	3.3	△1.7	



## そんぽ 2 4 損害保険(株) 単体

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料 (除く収入積立保険料)

区 分	前第 3 四半期累計期間 〔自 平成21年 4 月 1 日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第 3 四半期累計期間 〔自 平成22年 4 月 1 日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	—	—	—	—	—	—
海 上	—	—	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—	—	—
自 動 車	7,367	100.0	15.0	7,973	100.0	8.2
自動車損害賠償責任	—	—	—	—	—	—
その他の	—	—	—	—	—	—
合 計	7,367	100.0	15.0	7,973	100.0	8.2
(収入積立保険料)	( — )	—	( — )	( — )	—	( — )

正味収入保険料

区 分	前第 3 四半期累計期間 〔自 平成21年 4 月 1 日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第 3 四半期累計期間 〔自 平成22年 4 月 1 日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	—	—	—	—	—	—
海 上	—	—	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—	—	—
自 動 車	7,305	98.3	15.1	7,907	98.4	8.2
自動車損害賠償責任	123	1.7	△1.5	126	1.6	2.7
その他の	—	—	—	—	—	—
合 計	7,428	100.0	14.8	8,033	100.0	8.1

正味支払保険金

区 分	前第 3 四半期累計期間 〔自 平成21年 4 月 1 日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第 3 四半期累計期間 〔自 平成22年 4 月 1 日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金 額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金 額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火 災	—	—	—	—	—	—
海 上	—	—	—	—	—	—
傷 害	—	—	—	—	—	—
自 動 車	3,882	7.4	59.5	4,699	21.0	65.5
自動車損害賠償責任	137	7.4	111.2	155	13.1	122.5
その他の	—	—	—	—	—	—
合 計	4,019	7.4	60.3	4,854	20.8	66.4

## そんぽ24 損害保険(株) 単体

## ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	8,596	8,616
資本金又は基金等	8,365	8,236
価格変動準備金	22	20
危険準備金	—	—
異常危険準備金	253	312
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	△45	46
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額	945	895
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク( $R_1$ )	792	734
第三分野保険の保険リスク( $R_2$ )	—	—
予定利率リスク( $R_3$ )	—	—
資産運用リスク( $R_4$ )	156	193
経営管理リスク( $R_5$ )	31	30
巨大災害リスク( $R_6$ )	105	104
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	1,818.3 %	1,924.8 %

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第3四半期会計期間末の金額および数値は、資産運用リスクの計算の基礎となる値の一部を当中間会計期間末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

## セゾン自動車火災保険(株) 単体

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	比較増減
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		4,505	10,796	△6,290
金銭の信託		1,311	1,316	△4
有価証券		23,673	19,223	4,450
貸付金		15	20	△4
有形固定資産		446	171	274
無形固定資産		1,739	897	842
その他資産		2,058	1,917	141
貸倒引当金		△0	△0	—
資産の部合計		33,751	34,342	△591
負債の部				
保険契約準備金		20,076	19,359	716
支払備金		4,870	4,946	△76
責任準備金		15,206	14,413	793
その他負債		1,648	1,431	216
退職給付引当金		247	364	△116
役員退職慰労引当金		40	34	5
賞与引当金		108	206	△97
特別法上の準備金		6	14	△8
価格変動準備金		6	14	△8
繰延税金負債		113	100	13
負債の部合計		22,241	21,510	730
純資産の部				
株主資本				
資本金		8,610	8,610	—
資本剰余金		6,848	6,848	—
利益剰余金		△4,247	△2,925	△1,322
株主資本合計		11,210	12,532	△1,322
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		299	299	0
評価・換算差額等合計		299	299	0
純資産の部合計		11,509	12,831	△1,322
負債及び純資産の部合計		33,751	34,342	△591

## セゾン自動車火災保険(株) 単体

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	比較増減	増減率
		(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
		金額	金額		
経常収益		12,083	12,076	△6	△0.1%
保険引受収益		11,631	11,620	△10	△0.1
(うち正味収入保険料)	(	10,402)	11,026)	( 624 )	( 6.0 )
(うち収入積立保険料)	(	571)	478)	( △93 )	( △16.3 )
(うち積立保険料等運用益)	(	46)	40)	( △6 )	( △14.2 )
(うち支払備金戻入額)	(	611)	76)	( △534 )	( △87.5 )
資産運用収益		292	299	6	2.2
(うち利息及び配当金収入)	(	236)	230)	( △6 )	( △2.7 )
(うち金銭の信託運用益)	(	46)	—)	( △46 )	( △100.0 )
(うち売買目的有価証券運用益)	(	2)	1)	( △1 )	( △38.8 )
(うち有価証券売却益)	(	53)	106)	( 52 )	( 98.1 )
(うち積立保険料等運用益振替)	(	△46)	△40)	( 6 )	( — )
その他経常収益		159	156	△2	△1.5
経常費用		12,146	13,389	1,242	10.2
保険引受費用		8,713	9,396	682	7.8
(うち正味支払保険金)	(	5,683)	5,681)	( △2 )	( △0.0 )
(うち損害調査費)	(	639)	734)	( 94 )	( 14.8 )
(うち諸手数料及び集金費)	(	1,326)	1,335)	( 9 )	( 0.7 )
(うち満期戻戻金)	(	744)	846)	( 102 )	( 13.7 )
(うち責任準備金繰入額)	(	314)	793)	( 478 )	( 152.3 )
資産運用費用		105	151	46	44.4
(うち金銭の信託運用損)	(	—)	4)	( 4 )	( — )
(うち有価証券売却損)	(	76)	54)	( △22 )	( △29.5 )
営業費及び一般管理費		3,259	3,832	573	17.6
その他経常費用		68	8	△59	△87.3
(うち支払利息)	(	3)	6)	( 2 )	( 76.6 )
経常損失(△)		△63	△1,312	△1,249	—
特別利益		—	8	8	—
特別法上の準備金戻入額		—	8	8	—
価格変動準備金戻入額		—	8	8	—
特別損失		0	2	1	180.6
固定資産処分損		0	2	1	691.4
減損損失		0	—	△0	△100.0
特別法上の準備金繰入額		0	—	△0	△100.0
価格変動準備金繰入額		0	—	△0	△100.0
税引前四半期純損失(△)		△64	△1,306	△1,242	—
法人税等		16	16	—	—
四半期純損失(△)		△80	△1,322	△1,242	—

保 險 引 受 収 支	正味収入保険料	(+)	10,402	11,026	624	6.0
	正味支払保険金	(-)	5,683	5,681	△2	△0.0
	損害調査費	(-)	639	734	94	14.8
	正味事業費	(-)	4,366	4,956	589	13.5
	(諸手数料及び集金費)	(	1,326)	1,335)	( 9 )	( 0.7 )
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(	3,040)	3,620)	( 580 )	( 19.1 )
収支残高		△287	△345	△57	—	
保険引受利益		△77	△1,355	△1,278	—	
諸 比 率	正味損害率	(%)	60.8	58.2	△2.6	/
	正味事業費率	(%)	42.0	44.9	2.9	
	収支残高率	(%)	△2.8	△3.1	△0.3	

## セゾン自動車火災保険(株) 単体

種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	1,754	14.8	81.6	2,598	20.3	48.2
海上	1	0.0	14.0	0	0.0	△48.3
傷害	2,882	24.3	24.8	3,275	25.5	13.6
自動車	6,372	53.7	△4.7	6,100	47.6	△4.3
自動車損害賠償責任	235	2.0	△14.2	211	1.7	△10.0
その他	609	5.1	△5.7	637	5.0	4.6
合計	11,855	100.0	8.9	12,825	100.0	8.2
(収入積立保険料)	( 571 )	—	( △2.7 )	( 478 )	—	( △16.3 )

## 正味収入保険料

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	1,252	12.0	86.2	1,931	17.5	54.2
海上	22	0.2	△39.2	16	0.2	△25.3
傷害	1,906	18.3	10.8	2,064	18.7	8.2
自動車	6,324	60.8	△4.7	6,054	54.9	△4.3
自動車損害賠償責任	311	3.0	△7.7	349	3.2	12.1
その他	583	5.6	△6.3	610	5.5	4.6
合計	10,402	100.0	3.7	11,026	100.0	6.0

## 正味支払保険金

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日〕 〔至 平成21年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 平成22年4月1日〕 〔至 平成22年12月31日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	133	△33.5	11.9	190	42.3	11.0
海上	14	△29.9	65.7	13	△7.8	80.0
傷害	1,059	8.9	61.5	1,204	13.8	65.8
自動車	4,064	5.0	71.7	3,859	△5.1	72.3
自動車損害賠償責任	297	△3.6	102.9	313	5.3	95.7
その他	114	△17.9	22.3	100	△12.3	20.2
合計	5,683	3.1	60.8	5,681	△0.0	58.2

## セゾン自動車火災保険(株) 単体

## ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	13,034	15,333
資本金又は基金等	9,493	11,658
価格変動準備金	6	14
危険準備金	8	8
異常危険準備金	3,152	3,291
一般貸倒引当金	0	0
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	371	359
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	2	2
(B) リスクの合計額	1,657	1,653
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク( $R_1$ )	839	838
第三分野保険の保険リスク( $R_2$ )	—	—
予定利率リスク( $R_3$ )	6	6
資産運用リスク( $R_4$ )	510	530
経営管理リスク( $R_5$ )	59	59
巨大災害リスク( $R_6$ )	612	598
(C) ソルベンシー・マージン比率 $[(A) / \{(B) \times 1/2\}] \times 100$	1,572.6 %	1,854.7 %

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第3四半期会計期間末の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を当中間会計期間末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

## 損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末	前事業年度末に係る	比較増減
		(平成22年12月31日)	要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		21,129	32,988	△11,858
有価証券		1,083,772	1,030,306	53,466
(うち国債)	(	638,741)	( 560,887)	( 77,853)
(うち地方債)	(	69,338)	( 70,489)	( △1,150)
(うち社債)	(	311,611)	( 310,212)	( 1,398)
(うち株式)	(	5,070)	( 5,140)	( △70)
(うち外国証券)	(	59,011)	( 83,576)	( △24,564)
貸付金		17,482	17,162	319
保険約款貸付		17,482	17,162	319
有形固定資産		1,165	1,197	△32
無形固定資産		4,367	4,625	△258
代理店貸		147	174	△26
再保険貸		736	1,206	△470
その他資産		23,657	21,401	2,255
繰延税金資産		13,117	13,164	△47
貸倒引当金		△36	△94	58
資産の部合計		1,165,539	1,122,133	43,405
負債の部				
保険契約準備金		1,102,184	1,054,852	47,331
支払備金		20,316	20,155	160
責任準備金		1,079,744	1,032,371	47,373
契約者配当準備金		2,123	2,325	△202
代理店借		1,391	1,591	△199
再保険借		995	1,205	△210
その他負債		4,237	7,564	△3,326
退職給付引当金		876	663	213
役員退職慰労引当金		76	45	31
特別法上の準備金		919	794	125
価格変動準備金		919	794	125
負債の部合計		1,110,682	1,066,716	43,965
純資産の部				
株主資本				
資本金		17,250	17,250	—
資本剰余金		10,000	10,000	—
利益剰余金		25,500	27,283	△1,783
株主資本合計		52,750	54,533	△1,783
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		2,106	882	1,223
評価・換算差額等合計		2,106	882	1,223
純資産の部合計		54,856	55,416	△559
負債及び純資産の部合計		1,165,539	1,122,133	43,405

## 損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

## 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年12月31日〕	当第3四半期累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年12月31日〕	比較増減	増減率			
		金 額	金 額					
経常収益		185,354	196,123	10,768	5.8%			
保険料等収入		169,081	181,278	12,197	7.2			
(うち保険料)	(	167,055)	(	179,259)	(	12,203)	(	7.3)
資産運用収益		16,194	14,709	△1,484	△9.2			
(うち利息及び配当金等収入)	(	13,540)	(	14,235)	(	695)	(	5.1)
(うち有価証券売却益)	(	1,080)	(	474)	(	△606)	(	△56.1)
(うち特別勘定資産運用益)	(	1,573)	(	—)	(	△1,573)	(	△100.0)
その他経常収益		79	135	55	70.4			
経常費用		183,789	196,816	13,026	7.1			
保険金等支払金		112,763	102,917	△9,845	△8.7			
(うち保険金)	(	16,363)	(	16,083)	(	△280)	(	△1.7)
(うち年金)	(	609)	(	742)	(	132)	(	21.7)
(うち給付金)	(	16,499)	(	18,007)	(	1,508)	(	9.1)
(うち解約返戻金)	(	74,900)	(	64,051)	(	△10,849)	(	△14.5)
(うちその他返戻金)	(	886)	(	709)	(	△177)	(	△20.0)
責任準備金等繰入額		27,294	47,534	20,240	74.2			
支払備金繰入額		1,856	160	△1,695	△91.3			
責任準備金繰入額		25,438	47,373	21,935	86.2			
契約者配当金積立利息繰入額		0	0	0	72.7			
資産運用費用		1,118	773	△345	△30.9			
(うち支払利息)	(	26)	(	43)	(	17)	(	65.0)
(うち有価証券売却損)	(	—)	(	175)	(	175)	(	—)
(うち有価証券評価損)	(	718)	(	—)	(	△718)	(	△100.0)
(うち金融派生商品費用)	(	318)	(	24)	(	△293)	(	△92.2)
(うち特別勘定資産運用損)	(	—)	(	493)	(	493)	(	—)
事業費		41,441	43,649	2,208	5.3			
その他経常費用		1,171	1,940	769	65.7			
経常利益又は経常損失(△)		1,565	△692	△2,257	△144.3			
特別利益		0	4	4	3,869.5			
その他特別利益		0	4	4	3,869.5			
特別損失		94	480	386	409.8			
固定資産等処分損		7	15	7	111.6			
特別法上の準備金繰入額		87	125	38	44.0			
価格変動準備金繰入額		87	125	38	44.0			
その他特別損失		—	339	339	—			
契約者配当準備金繰入額		1,107	1,194	86	7.8			
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		363	△2,362	△2,725	△750.5			
法人税等		325	△579	△904	△278.2			
四半期純利益又は四半期純損失(△)		38	△1,783	△1,821	△4,784.8			



## 損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

## 主要業績

## 保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)				前事業年度末 (平成22年3月31日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	1,871	108.1	112,761	108.4	1,732	109.9	104,049	110.1
個人年金保険	15	99.5	798	99.5	15	98.2	801	98.5
団体保険	—	—	18,671	101.6	—	—	18,379	92.0
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものであります。

## 新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)				当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個人保険	228	133.5	15,636	132.8	247	108.5	16,869	107.9
個人年金保険	0	105.6	15	96.7	0	114.9	16	105.9
団体保険	—	—	425	651.7	—	—	171	40.2
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資であります。

## 年換算保険料

## 保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)		前事業年度末 (平成22年3月31日)	
		前年度末比		前年度末比
	個人保険	195,707	101.5	192,742
個人年金保険	3,534	102.8	3,439	98.9
合 計	199,241	101.6	196,181	98.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	77,121	105.8	72,864	106.1

## 新契約

(単位：百万円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
		前年同期比		前年同期比
	個人保険	17,662	111.8	19,411
個人年金保険	61	90.1	65	107.3
合 計	17,723	111.7	19,477	109.9
うち医療保障・ 生前給付保障等	8,637	125.1	9,057	104.9

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）であります。  
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除きます。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含まず。）等に該当する部分の年換算保険料を計上しております。

## 損保ジャパンひまわり生命保険(株) 単体

## ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	161,571	157,431
資本金等	52,754	54,533
価格変動準備金	919	794
危険準備金	16,261	15,355
一般貸倒引当金	14	18
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	2,971	1,245
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	73,347	69,171
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	15,302	16,312
(B) リスクの合計額	13,563	12,915
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R <sub>1</sub> )	6,927	6,382
第三分野保険の保険リスク相当額 (R <sub>8</sub> )	3,842	3,516
予定利率リスク相当額 (R <sub>2</sub> )	3,212	3,188
資産運用リスク相当額 (R <sub>3</sub> )	4,076	4,223
経営管理リスク相当額 (R <sub>4</sub> )	367	352
最低保証リスク相当額 (R <sub>7</sub> )	336	322
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,382.3 %	2,437.9 %

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております（「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しております）。
2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いております。

## 日本興亜生命保険(株) 単体

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末	前事業年度末に係る	比較増減
		(平成22年12月31日)	要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	金 額	
<b>資産の部</b>				
現金及び預貯金		10,309	14,371	△4,062
コールローン		725	478	247
債券貸借取引支払保証金		25,502	25,382	120
金銭の信託		20,213	19,916	297
有価証券		415,813	378,612	37,200
(うち国債)	(	276,650)	( 243,074 )	( 33,576 )
(うち地方債)	(	55,028)	( 52,132 )	( 2,895 )
(うち社債)	(	76,674)	( 75,571 )	( 1,102 )
(うち株式)	(	6,483)	( 6,892 )	( △408 )
(うち外国証券)	(	976)	( 941 )	( 35 )
貸付金		14,836	13,763	1,073
保険約款貸付		14,836	13,763	1,073
有形固定資産		198	178	20
無形固定資産		1,303	240	1,062
代理店貸		17	24	△7
再保険貸		178	183	△4
その他資産		11,451	8,911	2,539
繰延税金資産		6,725	6,931	△206
貸倒引当金		△7	△7	0
<b>資産の部合計</b>		<b>507,268</b>	<b>468,988</b>	<b>38,280</b>
<b>負債の部</b>				
保険契約準備金		450,504	411,682	38,821
支払備金		2,441	2,998	△557
責任準備金		446,591	407,193	39,398
契約者配当準備金		1,471	1,491	△19
代理店借		749	804	△54
再保険借		163	113	50
その他負債		27,955	30,000	△2,045
退職給付引当金		360	300	59
役員賞与引当金		—	15	△15
特別法上の準備金		608	542	66
価格変動準備金		608	542	66
<b>負債の部合計</b>		<b>480,341</b>	<b>443,459</b>	<b>36,881</b>
<b>純資産の部</b>				
株主資本				
資本金		20,000	20,000	—
利益剰余金		1,608	1,564	44
株主資本合計		21,608	21,564	44
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		5,318	3,964	1,353
評価・換算差額等合計		5,318	3,964	1,353
<b>純資産の部合計</b>		<b>26,926</b>	<b>25,528</b>	<b>1,398</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>		<b>507,268</b>	<b>468,988</b>	<b>38,280</b>

## 日本興亜生命保険(株) 単体

## 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	比較増減	増減率
		(自平成21年4月1日) (至平成21年12月31日)	(自平成22年4月1日) (至平成22年12月31日)		
		金 額	金 額		
経常収益		74,587	84,353	9,765	13.1%
保険料等収入		67,058	76,360	9,301	13.9
(うち保険料)	(	66,925)	( 75,764)	( 8,838)	( 13.2)
資産運用収益		6,555	6,970	415	6.3
(うち利息及び配当金等収入)	(	5,993)	( 6,681)	( 687)	( 11.5)
(うち金銭の信託運用益)	(	484)	( 289)	( △194)	( △40.2)
(うち有価証券売却益)	(	73)	( -)	( △73)	( △100.0)
その他経常収益		973	1,022	49	5.0
(うち支払備金戻入額)	(	205)	( 557)	( 351)	( 170.9)
経常費用		72,830	83,152	10,322	14.2
保険金等支払金		27,987	29,257	1,269	4.5
(うち保険金)	(	6,400)	( 7,869)	( 1,469)	( 23.0)
(うち年金)	(	390)	( 439)	( 48)	( 12.4)
(うち給付金)	(	2,293)	( 2,700)	( 406)	( 17.7)
(うち解約返戻金)	(	18,317)	( 17,631)	( △685)	( △3.7)
(うちその他返戻金)	(	158)	( 139)	( △19)	( △12.0)
責任準備金等繰入額		31,202	39,399	8,196	26.3
責任準備金繰入額		31,202	39,398	8,196	26.3
契約者配当金積立利息繰入額		0	1	0	24.9
資産運用費用		53	29	△24	△45.2
(うち支払利息)	(	49)	( 26)	( △23)	( △47.6)
事業費		12,847	13,776	929	7.2
その他経常費用		738	689	△48	△6.6
経常利益		1,757	1,200	△556	△31.7
特別利益		-	0	0	-
貸倒引当金戻入額		-	0	0	-
特別損失		68	181	112	164.9
固定資産等処分損		8	0	△7	△88.8
特別法上の準備金繰入額		60	66	5	9.5
価格変動準備金繰入額		60	66	5	9.5
その他特別損失		-	114	114	-
契約者配当準備金繰入額		832	899	67	8.1
税引前四半期純利益		855	119	△736	△86.0
法人税等		322	75	△246	△76.6
四半期純利益		533	44	△489	△91.7

## 日本興亜生命保険(株) 単体

## 主要業績

## 保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)				前事業年度末 (平成22年3月31日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	604	108.9	42,412	105.9	555	111.1	40,044	105.1
個人年金保険	54	100.3	1,987	100.8	53	96.3	1,971	96.3
団体保険	—	—	11,280	102.1	—	—	11,052	109.9
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものであります。

## 新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)				当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個人保険	70	115.7	4,740	107.8	80	114.9	5,965	125.8
個人年金保険	0	84.6	38	76.8	2	246.4	92	242.1
団体保険	—	—	284	146.5	—	—	83	29.5
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資であります。

## 年換算保険料

## 保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)		前事業年度末 (平成22年3月31日)	
	前年度末比		前年度末比	
個人保険	61,359	106.2	57,758	105.3
個人年金保険	12,071	100.9	11,966	96.5
合 計	73,430	105.3	69,725	103.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	14,526	106.7	13,610	111.6

## 新契約

(単位：百万円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
	前年同期比		前年同期比	
個人保険	6,580	104.3	7,871	119.6
個人年金保険	227	82.8	526	231.9
合 計	6,807	103.4	8,398	123.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,836	101.7	1,766	96.2

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）であります。  
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病診断給付等）等に該当する部分の年換算保険料を計上しております。

## 日本興亜生命保険(株) 単体

## ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	62,847	60,078
資本金等	20,766	21,564
価格変動準備金	608	542
危険準備金	5,202	4,859
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	7,501	5,592
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	27,228	25,993
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	1,541	1,527
(B) リスクの合計額	4,659	4,368
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 ( $R_1$ )	3,074	2,930
第三分野保険の保険リスク相当額 ( $R_8$ )	1,077	970
予定利率リスク相当額 ( $R_2$ )	171	164
資産運用リスク相当額 ( $R_3$ )	1,663	1,538
経営管理リスク相当額 ( $R_4$ )	119	112
最低保証リスク相当額 ( $R_7$ )	—	—
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,697.9 %	2,750.4 %

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております（「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しております）。

## 損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)	比較増減
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		154	182	△28
有価証券		4,722	5,407	△685
(うち国債)	(	2,388)	(2,690)	(△301)
(うち株式)	(	852)	(950)	(△98)
有形固定資産		59	80	△20
無形固定資産		—	0	△0
代理店貸		0	0	0
再保険貸		2	21	△18
その他資産		1,154	456	698
貸倒引当金		—	△0	0
資産の部合計		6,093	6,149	△55
負債の部				
保険契約準備金		1,089	1,041	48
支払備金		199	141	58
責任準備金		889	899	△10
代理店借		3	3	0
再保険借		28	32	△3
その他負債		253	342	△88
退職給付引当金		23	20	3
特別法上の準備金		16	15	0
価格変動準備金		16	15	0
繰延税金負債		189	225	△35
負債の部合計		1,604	1,680	△75
純資産の部				
株主資本				
資本金		10,100	10,100	—
資本剰余金		2,100	2,100	—
利益剰余金		△8,044	△8,128	83
株主資本合計		4,155	4,071	83
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		334	397	△63
評価・換算差額等合計		334	397	△63
純資産の部合計		4,489	4,468	20
負債及び純資産の部合計		6,093	6,149	△55

## 損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	比較増減	増減率
		(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		
		金 額	金 額		
経常収益		2,761	2,866	104	3.8%
保険料等収入		2,721	2,824	103	3.8
（うち保険料）	(	2,665)	( 2,733)	( 68)	( 2.6)
資産運用収益		40	31	△9	△22.8
（うち利息及び配当金等収入）	(	40)	( 31)	( △9)	( △22.8)
その他経常収益		0	10	10	7,003.9
（うち責任準備金戻入額）	(	—)	( 10)	( 10)	( —)
経常費用		3,222	2,779	△443	△13.8
保険金等支払金		1,009	784	△224	△22.3
（うち保険金）	(	746)	( 512)	( △234)	( △31.4)
（うち給付金）	(	150)	( 164)	( 14)	( 9.7)
（うちその他返戻金）	(	0)	( 3)	( 2)	( 238.7)
責任準備金等繰入額		67	58	△9	△14.0
支払備金繰入額		61	58	△3	△5.1
責任準備金繰入額		6	—	△6	△100.0
資産運用費用		0	0	△0	△29.2
（うち支払利息）	(	0)	( 0)	( △0)	( △29.2)
事業費		2,094	1,889	△204	△9.8
その他経常費用		50	46	△4	△8.8
経常利益又は経常損失(△)		△461	87	548	—
特別損失		9	0	△8	△89.5
特別法上の準備金繰入額		1	0	△0	△11.6
価格変動準備金繰入額		1	0	△0	△11.6
その他特別損失		8	—	△8	△100.0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		△470	86	556	—
法人税等		2	2	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△473	83	556	—



## 損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

## 主要業績

## 保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)				前事業年度末 (平成22年3月31日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	46	99.3	7,906	98.3	46	101.1	8,039	99.7
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

## 新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年12月31日〕				当第3四半期累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年12月31日〕			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個人保険	3	96.5	592	91.4	2	78.2	451	76.1
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

## 年換算保険料

## 保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)		前事業年度末 (平成22年3月31日)	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	3,700	101.4	3,650	103.2
個人年金保険	—	—	—	—
合 計	3,700	101.4	3,650	103.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	877	101.6	863	104.6

## 新契約

(単位：百万円、%)

区 分	前第3四半期累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年12月31日〕		当第3四半期累計期間 〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年12月31日〕	
		前年同期比		前年同期比
個人保険	244	94.9	193	79.3
個人年金保険	—	—	—	—
合 計	244	94.9	193	79.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	74	98.7	55	74.8

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)であります。
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除きます。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含みます。)等に該当する部分の年換算保険料を計上しております。

## 損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険(株) 単体

## ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末 (平成22年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	5,187	5,199
資本金等	4,155	4,071
価格変動準備金	16	15
危険準備金	544	551
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	471	560
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	—
持込資本金等	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
(B) リスクの合計額	571	582
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 ( $R_1$ )	447	454
第三分野保険の保険リスク相当額 ( $R_8$ )	95	95
予定利率リスク相当額 ( $R_2$ )	0	0
資産運用リスク相当額 ( $R_3$ )	103	118
経営管理リスク相当額 ( $R_4$ )	19	20
最低保証リスク相当額 ( $R_7$ )	—	—
(C) ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,814.6 %	1,785.9 %

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しております)。

## 補足説明

### < 諸比率等の計算方法 >

- ・ 保険引受利益＝保険引受収益－保険引受費用－保険引受に係る営業費及び一般管理費＋その他収支<sup>※</sup>  
   ※その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などです。
- ・ 正味損害率　＝（正味支払保険金＋損害調査費）÷正味収入保険料×100
- ・ 正味事業費率＝（諸手数料及び集金費＋保険引受に係る営業費及び一般管理費）÷正味収入保険料×100
- ・ 収支残高率　＝（正味収入保険料－正味支払保険金－損害調査費－正味事業費）÷正味収入保険料×100

### < ソルベンシー・マージン比率 >

- ・ 保険会社は、保険事故発生や契約満期などの際における保険金・給付金や満期返戻金などの支払に備えて準備金を積み立てていますが、巨大災害の発生、大幅な環境変化による死亡率の変動または保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・ こうした「通常の予測を超える危険」（表の「(B) リスクの合計額」）に対して、「保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（表の「(A) ソルベンシー・マージン総額」）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「(C) ソルベンシー・マージン比率」です。
- ・ 「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 

①保険引受上の危険 （一般保険リスク） （第三分野保険の保険リスク）	： 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く。）
②予定利率上の危険 （予定利率リスク）	： 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
③資産運用上の危険 （資産運用リスク）	： 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
④経営管理上の危険 （経営管理リスク）	： 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で①～③、⑤および⑥以外のもの
⑤巨大災害に係る危険 （巨大災害リスク）	： 通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
⑥最低保証に係る危険 （最低保証リスク）	： 特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険
- ・ 「保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・危険準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額です。
- ・ ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に、保険会社の経営の健全性を判断するための指標のひとつですが、その数値が 200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

## 将来予想に関する記述について

本書類には、NKS J ホールディングス株式会社（以下「当社」）にかかる「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本書類における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しています。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。当社は、本書類の日付後において、本書類の将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、今後の日本国内における公表および1934年米国証券取引法に基づく米国証券取引委員会への届出および提出において当社の行う開示をご参照ください。

なお、上記当社のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の四半期報告書にも記載されていますのでご参照ください。

- (1) 日本の経済情勢悪化による影響
- (2) 損保事業の競争が激化するリスク
- (3) 法律、規制、制度等の変更による影響
- (4) 保険商品に関する自然災害リスク
- (5) 予測を超える損害の発生に伴うリスク
- (6) 再保険に関するリスク
- (7) 株価の下落による影響
- (8) 金利の変動による影響
- (9) 信用リスク
- (10) 為替の変動による影響
- (11) 流動性リスク
- (12) 生命保険事業に関するリスク
- (13) 海外事業に関するリスク
- (14) 関連事業に関するリスク
- (15) 格付の引き下げによる影響
- (16) 自然災害等の発生に伴う事業中断リスク
- (17) 情報漏えいに関するリスク
- (18) 風評リスク
- (19) システム統合リスク
- (20) 統合シナジーが十分に発揮されないリスク
- (21) 生命保険子会社の合併に関するリスク
- (22) その他のリスク